

共生・協働の 地域社会づくり

北山校区地域コミュニティ協議会
TEL&FAX 0995(68)0337

地域の人々への気遣い、
目配りをしながら、
地域の力を一つに

始良市の北部に位置し、豊かな自然に囲まれた北山校区にも、近年、過疎化・高齢化の波が押し寄せ、校区の高齢化率は6割を超し、農地や山林の荒廃が目立つようになってきました。旧始良町時代の平成20年度には、町内の8小学校区ごとに、自治会で構成する「地域活性化委員会」が設立され、活性化基本構想策定などの取り組みがなされました。

北山校区では、この構想をいち早く生かそうと、住民自らが自立に向け、校区の自治会や老人クラブ、女性団体などのさまざまな組織が連携した、「北山校区地域コミュニティ協議会」を平成21年5月に設立しました。

こうした協議会を地域自ら組織し、運営するのは先駆的なことといえます。初代会長となった肥後利治さんの、「今、動かなければ何



遊休農地を活用した「北山そば」の収穫

もなくなくていく。動くことで何かが始まる」との思いから、協議会の活動が始まりました。

まず、地域の寄り合いの場や情報発信の場づくりとして、郵便局跡を活用し、住民やボランティアの協働のもと、手づくりで食堂「しきおり」をオープン。ここで始めた高齢者の宅配弁当の取り組みは、地元の食材を使った料理が評判となり、校区外からも多くの人が足を運ぶ人気のスポットとなりました。現在、この「しきおり」は「県民の森」に移転して活動を続けており、以前あった場所には、本県の「ソバの里」づくりの認定を受けた地域ブランド「北山そば」を味わえる「北山茶屋」を新たにオープンさせるなど、その活動は広がっています。

また、ちびっ子ソフトボール大会などの交流イベントの開催や、地域の自然を生かした烏帽子岳登山道整備などの「校区内へ人を集める」取り組みも広がりをみせています。

また、これらの活動に加え、市の美化作業の請負や生活改善センターの管理受託などにより自主財源の確保に努めることともに、

自主的な空き家対策、鹿児島大学と連携した地域医療実習の受け入れなど、地域の課題解決に向けた積極的な取り組みがなされています。



茶いっぺ処 北山茶屋

こうした活動が実を結び、地域の出身者7人がUターンするなど、地域が少しずつにぎわいを取り戻しつつあります。

さらに、この協議会のユニークな取り組みは、一地域にとどまらない広がりをを見せており、始良市全域において、北山校区の取り組みをモデルとして共生・協働の地域社会づくりが進められています。

「今、私は、地域の人たちがやる気をおこすような、そんな雰囲気になる『仕組み』づくりをしているのだと思っています。一人ではできないことも、みんなで力を合わせれば達成できる。その達成感が喜びになり、そうした積み重ねが地域を変えていくと信じています」と、肥後会長。

始良市をはじめとした行政の支援も大きいと謙遜しながらも、穏やかな口調の中に地域への熱い情熱を感じさせながら、思いを語ってくれました。

代表者からひとこと



協議会会長の肥後利治さん

地域づくりは人づくり。地域の人々への気遣い、目配りをしながら、地域の力を一つにまとめることだと思います。



鹿児島大学と連携した地域医療実習の受け入れ

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階) TEL 099(286)2241
◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) TEL 099(221)6613
関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。